SAPIX	5年							
	算数							
学習内容	28回　流水算 29回　通過算 30回　総合（26〜29回） 31回　和と差に関する問題							
家庭学習ポイント	28〜29回は流水算、通過算と、速さの特殊算を学びます。流水算は「上りの速さ・下りの速さ・流速・静水上の速さ」を必ず書き出して整理してから解き始めるのが最大のポイントです。「書かなくてもわかるから」と整理することを端折ると、条件が複雑な応用問題になったときに対応できません。また「応用問題になってから書くようにする」というのも結局はうまくいきません（ついた「書かない」という習慣がなかなか治らないため）。基礎的な問題を演習しているときからしっかり書く習慣をつけることが、長期的にみてこれらの文章題をマスターする秘訣と言えるでしょう。「通過算」では電車の図を書くこと、先頭か最後に注目して距離を考えることがポイントです。速さは状況をイメージし、図で関係を示すことがポイントです。こちらもやはり、正確な位置関係を図に描いてから解く練習を積まないと、文章を正確に捉えられなくなり、複雑化した問題に対応できません。「和と差に関する文章題」は、問題のタイプによって書くべき図、まとめ方が変わってきます。和差算は線分図、平均算は面積図など「丸覚え」するのではなく「確かにこのタイプの問題だと、この図を書いて整理すると考えやすい」と納得しながら習得していくことができればいいですね。							
課題の把握と解決策	チェック1	流水算では必ず「上りの速さ・下りの速さ・流速・静水上の速さ」を書いて整理していますか？	チェック					
	解決策	この「整理」の作業を端折らないことが、文章題を克服する最大のポイントと言えます	□					
	チェック2	通過算では必ず列車の図を書き「どことどこが出会うのか、追いつくのか」を確認していますか？	チェック					
	解決策	流水算同様、「端折らない」ことが最大のポイントです	□					
	チェック3	様々な文章題について「このタイプならこんな図が使えそう」が出てくるようになってきましたか？	チェック					
	解決策	納得しながら学ぶことで、問題ごとの対応法が出てくるようになってきます	□					
	チェック4	間違った問題はテキストの解説を読み、再度自力で解けるか確認していますか？	チェック					
	解決策	「わかった」と納得するだけでなく、できれば時間が経ってから解き直してみましょう	□					
	チェック5	基礎トレの学習をコツコツ続けていますか？	チェック					
	解決策	組分けテストなど実力テストで点を取るために続けましょう	□					

SAPIX	5年		
	国語		
学習内容	28回　コトノハ／文化祭に行ってみよう！　物語文 29回　コトノハ／おばあちゃんといっしょ　物語文 30回　コトノハ／お金があれば･･･　詩 31回　知の冒険／　これまで学んだ国語知識を改めて確認しよう　説明文		
家庭学習ポイント	A授業は「文化祭に行ってみよう！」「おばあちゃんといっしょ」「お金があれば･･･」「これまで学んだ国語知識を改めて確認しよう」B授業では物語文2回、詩1回、と説明文に関する学習です。詩はお子さんにとってなじみが薄い点に加え、比喩や倒置法、擬人法など、これまでの文章では使われなかった特殊な表現が使われるといった理由で、敬遠されがちです。また詩を出題する学校が少ないことも、お子さんたちが詩の学習を後回しにしである理由です。ただし志望校が詩を出題する学校である場合（難関校に多い）はもちろん、出題例が少ないからこそ、出題されたときに差がつく分野と言えるのです。詩の読解では、まず題名を確認し、筆者が何について語っているのかを把握しましょう。また先入観を持たず、読んでいる自分の感想ではなく「筆者が何に感動しているのか」を客観的に読み取るのがポイントです。詩は最低限の言葉で表現されているので、情景を映像のように思い浮かべる練習をしてみるといいでしょう。		
課題の把握と解決策	チェック1	「コトノハ」出でてきたことばで知らなかったものは、例文とともに覚えていますか？	チェック
	解決策	上記の方法でどんどん知っている表現を増やすことで、読解力が飛躍的についてきます	□
	チェック2	Aテキストの「解法メソッド」を活用していますか？	チェック
	解決策	「解きっぱなし」にならないよう「解き方」を学びましょう	□
	チェック3	詩の読解において、情景をありありと想像できていますか？	チェック
	解決策	物語文でも有効なテクニックですが、文字情報の少ない詩で使えるようになると読解力が上がります	□
	チェック4	物語文や詩を客観的に読むことができていますか？	チェック
	解決策	「自分がこう思う」だけにとらわれず、筆者、そして出題者が何を感じているか考えましょう	□
	チェック5	漢字や語句の学習について「ルーティン」が守られていますか？	チェック
	解決策	朝学習など習慣的なものに組み込みましょう	□

SAPIX	5年							
	理科							
学習内容	28回　気体の発生～物質の性質と変化⑧～ 29回　食物連鎖～動物のつくりとはたらき③～ 30回　てこ②～力学⑥～ 31回　滑車と輪軸～力学⑦～							
家庭学習ポイント	28回「気体の発生」では、酸素、二酸化炭素、水素の発生について学びます。まずは気体を発生させるために必要な物質を、正しく覚えることが必要です。酸素の場合は二酸化マンガン（固体）が「しょくばい」であり、それ自体は変化せずに過酸化水素（水）の分解を促すだけなのに対し、二酸化炭素や水素を発生させるために使用する固体が、それ自体変化することをしっかり押さえておきましょう。計算に関しても上記のことから、酸素の場合は過酸化水素の量によって発生量が決まり、二酸化炭素や水素は使用する2つの物質のうち「少ない方」にあわせて発生することが理解できていることが大切です。あやふやなまま「なんとなく」で計算を進めていると応用問題でつまずくので注意が必要です。食物連鎖では個体数のグラフや、酸素、二酸化炭素などの物質が生物間でどう移動するかを理解しておくことが大切です。つねに循環のスタートが「生産者」である植物（植物プランクトンも含む）と考え、物質（おもに炭素）の移動を「食べる←食べられる」で表していきましょう。30回からは力学に入ります。棒の重さは重心に作図し、支点の位置、力の大きさ、回転方向なども図に書き込んでおくことが必須となります。これらは算数での図と同じように「書くと解きやすい」というよりは「書かないとどこかで（問題のレベルが上ったとき）つまずく」と考え、基本問題からしっかり実行することが大切です。							
課題の把握と解決策	チェック1	酸素、二酸化炭素、水素を発生させるときに使う固体と液体を答えられますか？	チェック					
	解決策	特に酸素発生時に使用する二酸化マンガンが「しょくばい」であることに注意です	□					
	チェック2	気体発生の実験で使用する実験器具などを正しく答えられますか？	チェック					
	解決策	特に三角フラスコの中の管の長さ、気体の収集（置換）法などは重要で頻出です	□					
	チェック3	食物連鎖の矢印でのつながりが「何の」流れかを理解できていますか？	チェック					
	解決策	もともとは植物（生産者）がつくった栄養分（炭素を含む）が循環しているんですね	□					
	チェック4	てこの問題では、視点の位置に△、重心の位置に矢印（↓）を書き込んでいますか？	チェック					
	解決策	書くことで「うっかり」の原因が減り「わかっているのに正解できない」状態がなくなります	□					
	チェック5	滑車の問題では「滑車の左右のひもにかかる力は等しい」を図に示していますか？	チェック					
	解決策	左右のひもにかかる力を「80g」や「①」と書き込んでいきましょう	□					

SAPIX	5年		
	社会		
学習内容	28回　戦国の世 29回　江戸幕府の成立 30回　江戸幕府のゆらぎ 31回　幕政改革		
家庭学習ポイント	28回「戦国の世」では、おもに織田信長と豊臣秀吉の時代について学びます。応仁の乱によって室町幕府が力を失ってから豊臣秀吉が太閤検地や刀狩りを経て添加を統一するまで100年余りの間、激動の時代となります。年号とエピソードを軸に年表にして知識を整理しておくことがポイントです。29回からは4回に渡って江戸時代の学習が続きます。29回では大名統制や鎖国といった幕府の初期の政策、30回では家光から綱吉、新井白石にかけての政治や文化、31回では三大改革と化政文化について学習します。江戸時代に関して学ぶ内容で年表に落とし込んで整理できるパートは、しっかりまとめて整理しておきましょう。「鎖国への流れ」や「三大改革」といった部分は、年号と人名を軸に年表上で整理しておくのがおすすめです。一方で元禄文化・化政文化や交通（海上交通と五街道など）に関しては、別途、表や地図をもとにまとめて整理しておくといいでしょう。一方で、オープンなどの実力テストでは地理分野の内容も出題されますので、歴史の学習と並行して地理の復習をどれくらい日常の学習に織り込めるかがポイントになります。		
課題の把握と解決策		応仁の乱～豊臣秀吉の天下統一までの年表がざっくり頭の中に入っていますか？	チェック
	解決策	激動の時代、つまりストーリーとして理解しやすい100年余りとなっています	□
	チェック2	戦乱などが起きた場所を日本地図上で把握していますか？	チェック
	解決策	歴史の学習では往々にして「どこで起きているのか？」がわからなくなりがちです	□
	チェック3	長い江戸時代、おおまかな「区切り感」を持てていますか？	チェック
	解決策	成立期（1～3代）・安定期（4～7代）・改革期（8～12代）・幕末期（13～15代）のイメージです	□
	チェック4	ルーティンの学習に地理を組み込んでいますか？	チェック
	解決策	11月オープンには地理分野も例年出題されています。意識的に地理の後半で学習した内容の復習を	□
	チェック5	歴史学習の「スタイル」を確立できていますか？	チェック
	解決策	古代～中世くらいのうちに「因果関係で流れを掴む」学習法を身につけてしまいましょう	□